

MITSUBISHI

バスルームテレビ

RMC-TV1

仕様書

仕様表

外形寸法 (mm)	テレビ本体	高さ264 × 幅285 × 奥行28.5	
	電源・チューナーユニット	高さ304 × 幅171 × 奥行60	
	中継コード	長さ 4m	
質量 (kg)	テレビ本体	1.7	
	電源・チューナーユニット	0.9	
システム	受信チャンネル	VHF:1~12ch、UHF:13~62ch、CATV:C13~C63、FM:76.1MHz~89.9MHz 地上デジタル放送・BS/CS放送には対応していません。	
	選局方式	周波数シンセサイザーチューニング	
	画面サイズ(mm)	211 × 158	
	表示素子	TFTカラー液晶	
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス方式	
	有効画素数(ドット)	640 × 480	
	視野角	水平:140° 垂直:110°(typ)	
	受信方式	NTSCコンポジットビデオ信号	
	スピーカー	丸型3.6cm×2個(0.2W/個)	
	音声方式	ステレオ/モノラル	
防水性能	JIS保護等級5 防噴流形相当(テレビ本体のみ)		
接続部	外入力	アンテナ	F型コネクタ(75Ω)
		電源	中継端子盤:M4丸型端子
		映像	RCAピンジャック(75Ω)
		音声(L/R)	RCAピンジャック(23kΩ)
	外出力	映像	RCAピンジャック(75Ω) <テレビ本体との接続で使用>
		音声(L/R)	RCAピンジャック(300Ω)
電源部	消費電力(W)	視聴時:17.5 待機時:3.6	
	電源	AC100V 50/60Hz	
リモコン(別売)	RMC-TV1R(リチウム電池 CR2032を1個同梱しています。)		

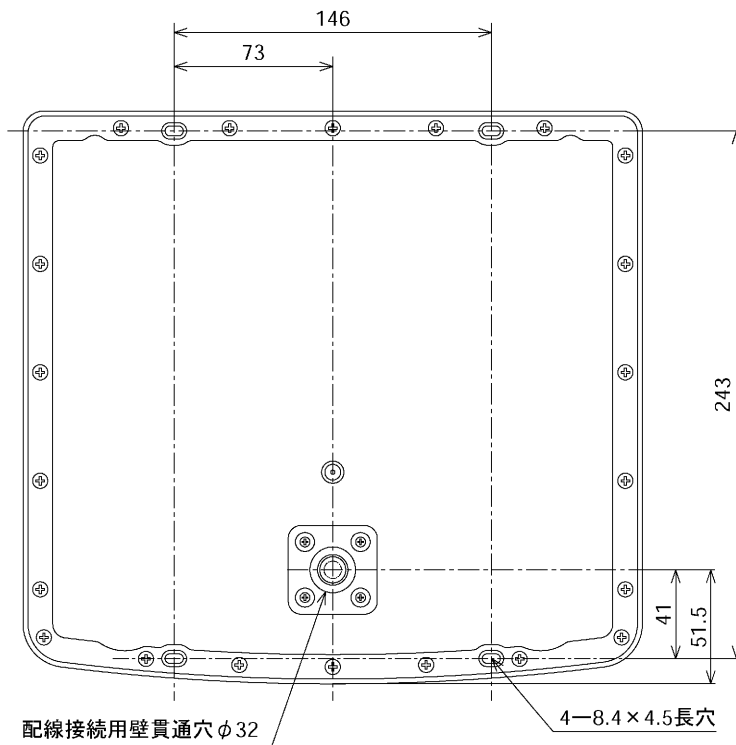
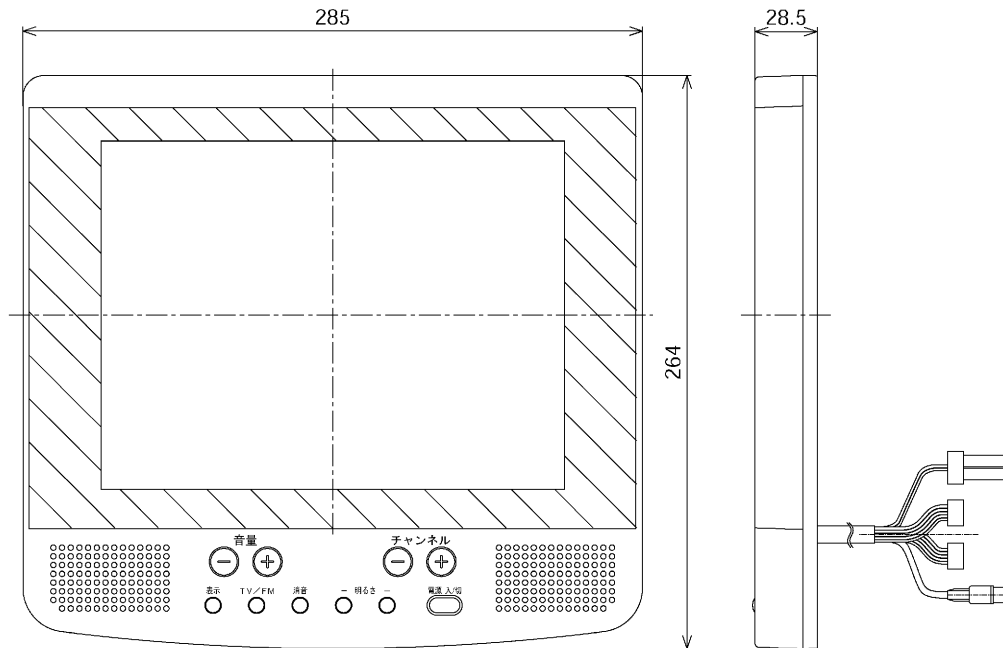
仕様表

T72700701A

1/11

外形寸法図(テレビ本体)

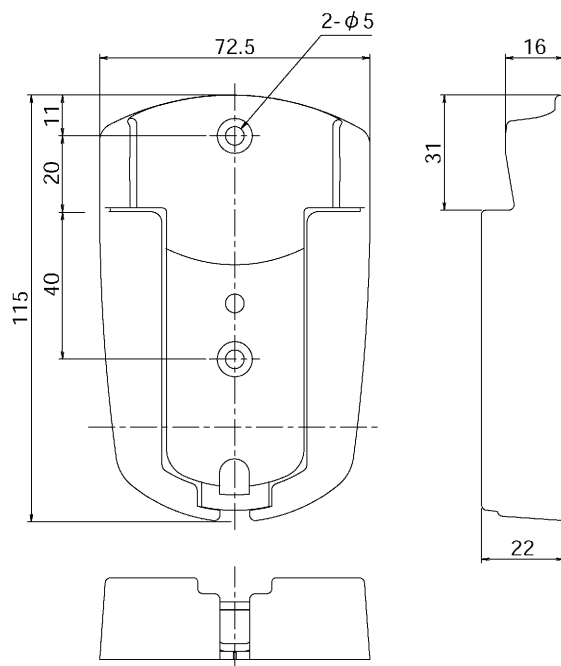
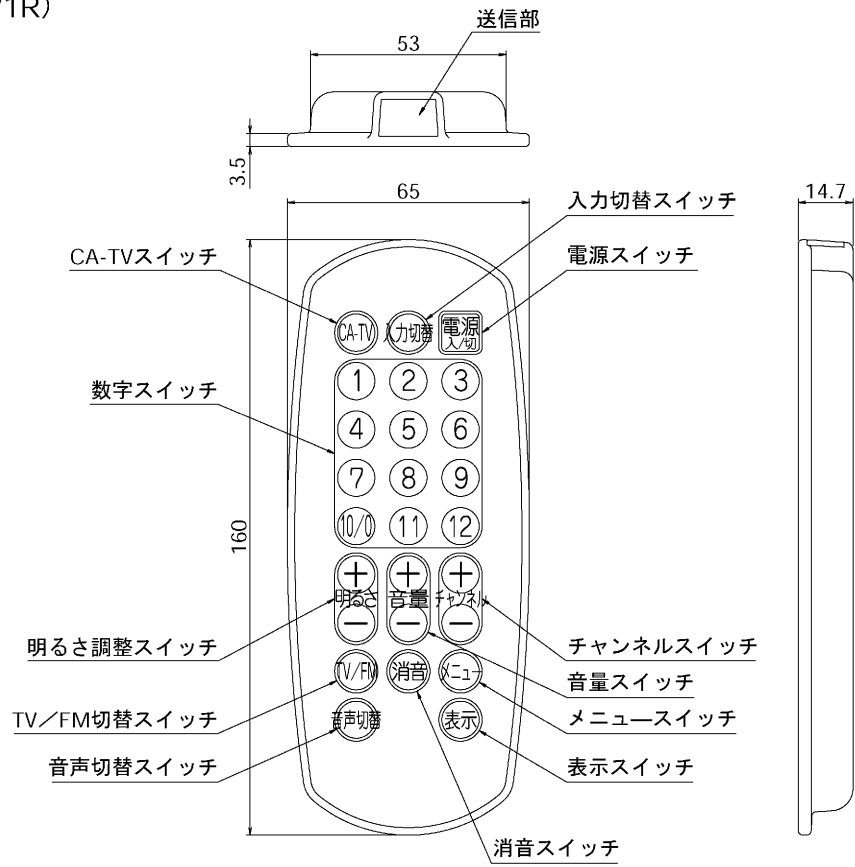
(寸法単位:mm)



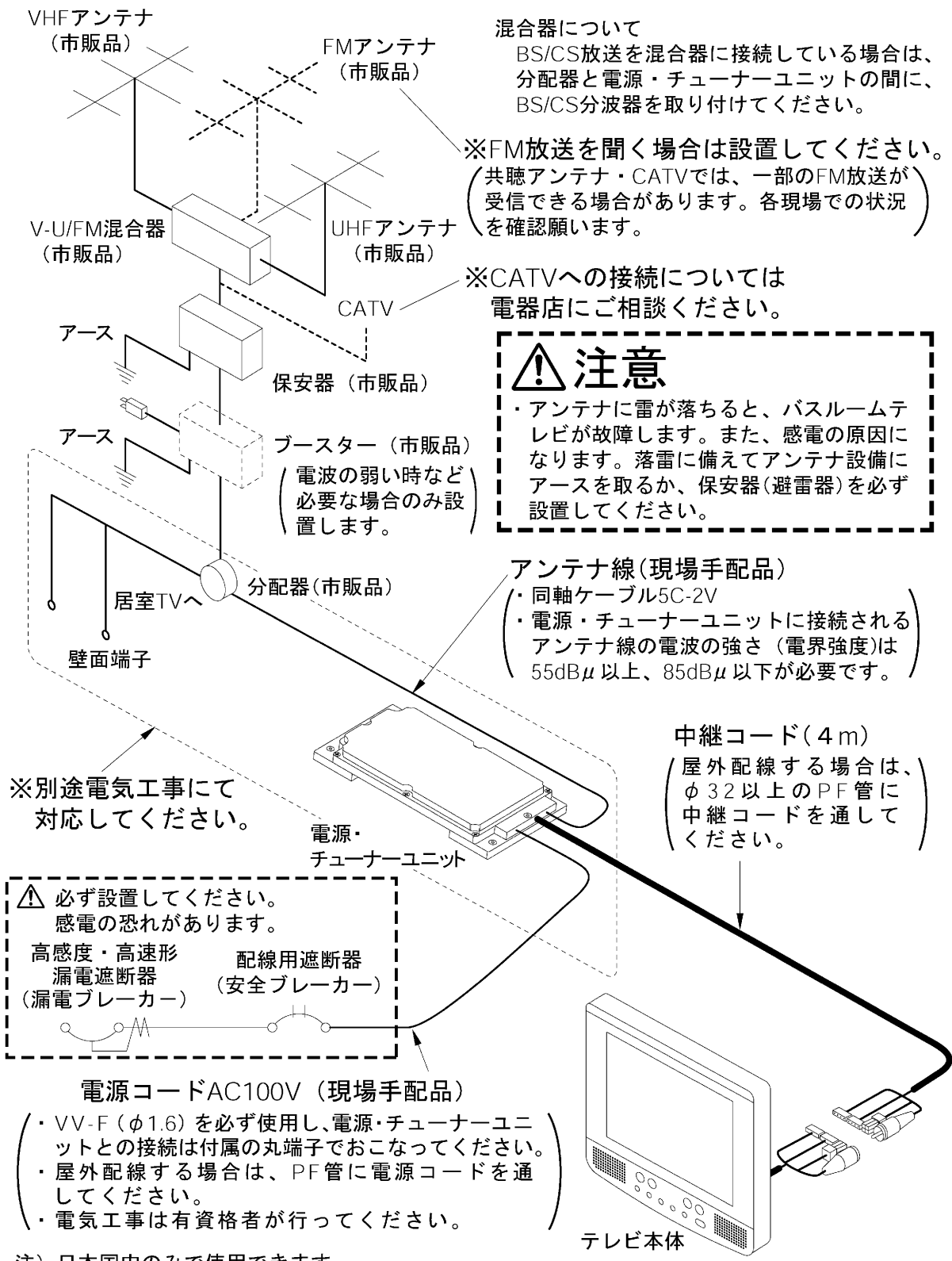
外形寸法図 (リモコン)

(寸法単位:mm)

リモコンは別売です。
(形名:RMC-TV1R)



システム図



注) 日本国内のみで使用できます。
外国では放送方式・電源電圧が異なりますので使用できません。
BS/CS・BS/CSデジタル放送・地上デジタル放送には対応していません。

取付方法(電源・チューナーユニット)

電気ドライバー・インパクトドライバーは使用しないでください。

1. 電源・チューナーユニットを固定します。

(1) 浴室天井裏設置の場合

- ①電源・チューナーユニットを取付板(現場手配品)に十丸木ネジ(短)4本でネジ止めします。
- ②点検口から手の届く範囲で平らな面にコーキングを塗布し、設置します。

(2) 屋外設置の場合

壁にオールプラグ4本を打ち込み、十丸木ネジ4本(短)で壁面に固定してください。

(雨線内の、直接雨が当たらない場所に設置してください。)

(3) 脱衣室設置の場合

壁にオールプラグ4本を打ち込み、十丸木ネジ4本(短)で壁面に固定してください。

※現場の壁厚などにより、フィッシャープラグ(アンカー)などを選定してください。

(直接水がかからない場所に設置してください。)

取付図方法は右図を参照してください。

2. 電源・チューナーユニットふたのネジ8本を外し、開ける。

3. 中継コード(電源側)・アンテナ線・AC100V電源を、①~⑤の順に無理な力がかからないように接続します。

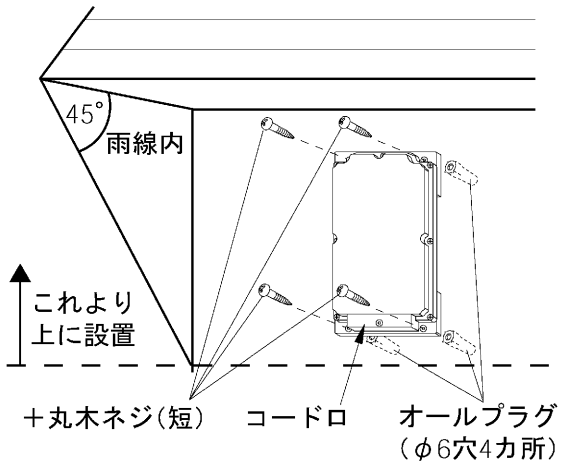
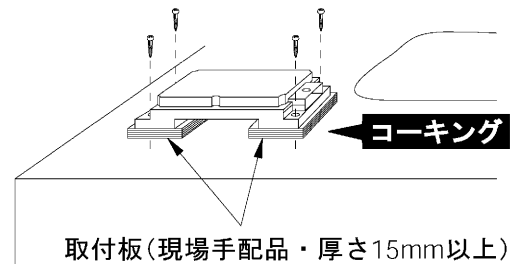
取り付けがすべて完了するまで電気を供給しないでください。

①中継コードのコネクターを接続する。

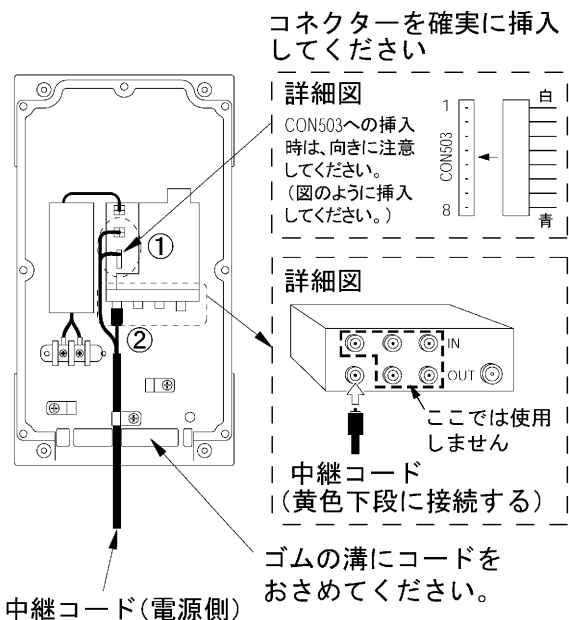
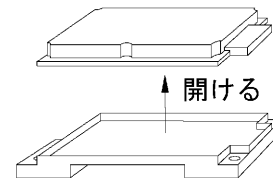
コネクターを確実に接続してください。接続が不十分な場合、音声途切れたり映像途切れる場合があります。

②中継コードのピンコードを接続する。

ピンコードは下段のOUT(黄色)に接続してください。他の部分に接続しますと映像がでません。



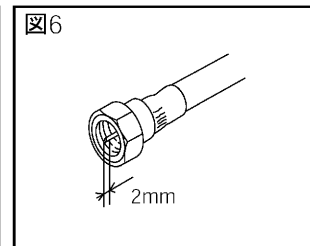
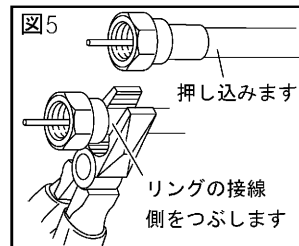
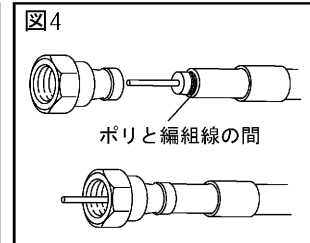
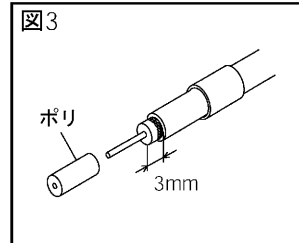
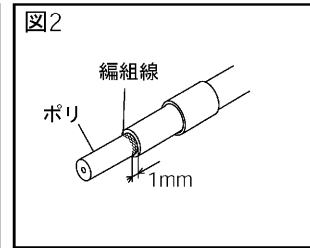
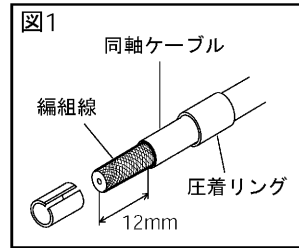
※コードロを下に向けて取り付けてください。



取付方法(電源・チューナーユニット)

③アンテナ線はねじ式F型接栓で接続する。

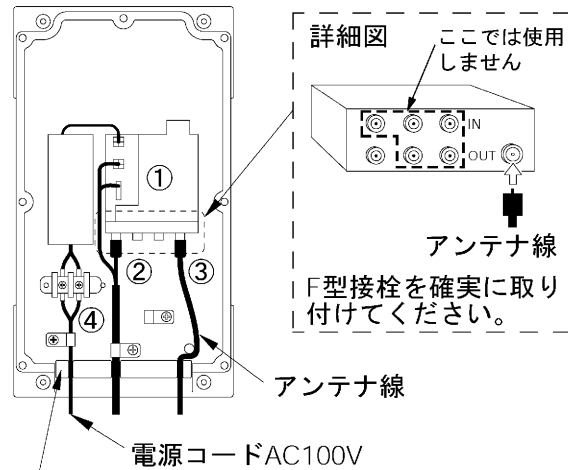
- (1) アンテナ線(同軸ケーブル)にF型接栓(現場手配)の圧着リングを通し、先端より12mmの被覆を取ります。(図1)
- (2) 編組線を1mm残して切り取ります。(図2)
- (3) ポリを約3mm残して切り込みを入れ回転させながら抜き取ります。(図3)
- (4) F型接栓をアンテナ線(同軸ケーブル)のポリと編組線の間、奥までしっかりと差し込みます。(図4)
- (5) 圧着リングをF型接栓と被覆の間にしっかり押し込み、接栓が抜けない様にペンチなどで締め付けます。(図5)
- (6) 余分な心線を斜めにカットします。(図6)
- (7) 電源・チューナーユニットにアンテナ線を接続します。(図6)



④電源コードAC100Vを付属の丸端子を使用し、確実に接続する。 (電源コードは現場手配品)

⑤電源コード・中継コードを付属のコードクランプで確実に固定してください。

電源コード・中継コードに無理な力がかからない様に配線してください。
無理な力がかかるとコネクタ・ピンコードなどが抜け故障の原因になります。



ゴムの溝にコードをおさめてください。

電気工事は有資格者が行ってください。

4. ふたをネジ8本で閉めます。

パッキンにゴミが付着していないことと、きちんとはまっていることを確認してから閉めてください。

万一、ネジが空回りして締め付けられなくなった場合は、M3長さ30mmのトラス小ネジとM3用ナットではさみ込んで締め付けてください。

取付方法(テレビ本体)

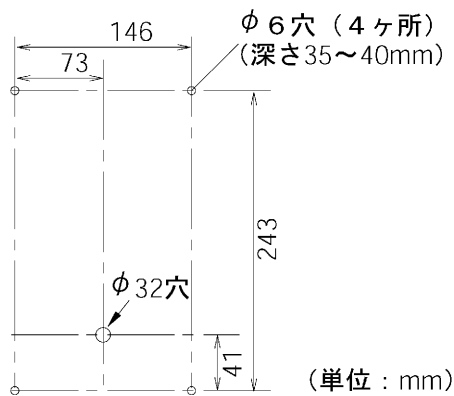
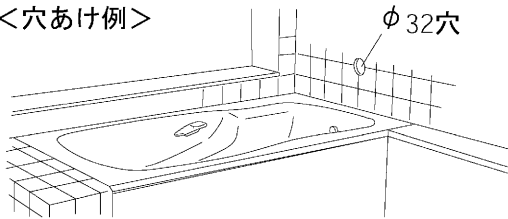
- ・保護シートは取り付けが完了するまではがさないでください。
- ・電気ドライバー・インパクトドライバーは使用しないでください。

1. 取り付け位置を決めて型紙(付属品)を貼り付けてください。

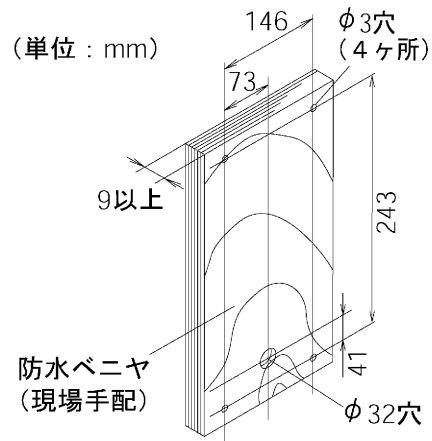
- 目の高さにテレビ本体がくるように、貫通穴をあけてください。
- 浴槽長手側の壁に取り付けると、テレビが見えにくくなります。
- 浴槽落とし込み用水栓にあたらないように取り付けてください。

2. 型紙に合わせて、壁に貫通穴(φ32mm)と固定用の穴(φ6mm、深さ35~40mm、4ヶ所)をあけ、オールプラグ4本を打ち込みます。

<穴あけ例>



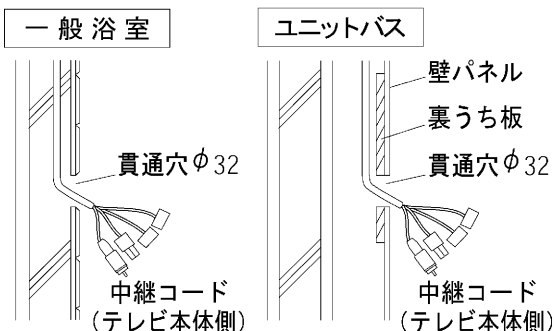
※ユニットバスなどの壁パネルにテレビ本体を取り付ける場合は、次のような裏打ち板をあらかじめ壁パネルの裏側に貼り付けておきます。(断熱材は除去してください。)



3. 中継コードを引き込みます。

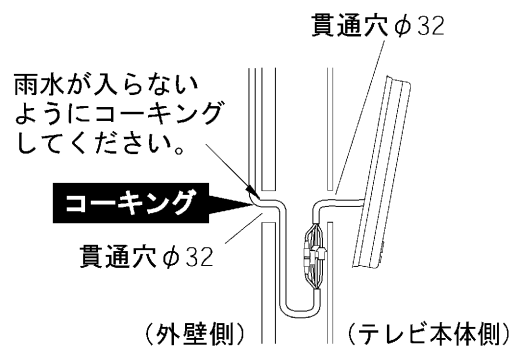
<屋内配線の場合>

- 中継コード(モニター側)を貫通穴から浴室へ引き込みます。



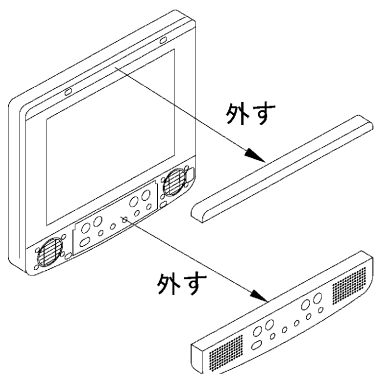
<屋外配線の場合>

- 中継コード(モニター側)を屋外から引き込みます。



取付方法(テレビ本体)

4. テレビ本体の化粧枠上と化粧枠下を取り外します。



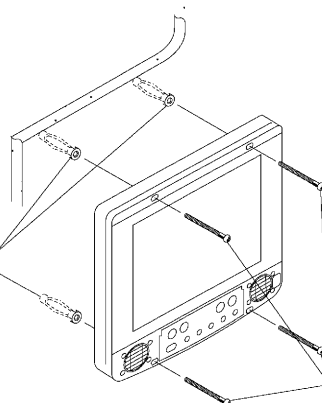
外れにくい場合は、切り欠き部に⊖ドライバーを入れて、ねじるようにして外してください。

その際、テレビ本体を傷つけないように、十分注意してください。

●取り付け注意

- ・裏打ち板を取り付けできない場合は、取り付け場所に応じてフィッシャープラグ（アンカー）などを使用し固定する。

現場の壁厚などにより
フィッシャープラグ
(アンカー)を選定して
ください

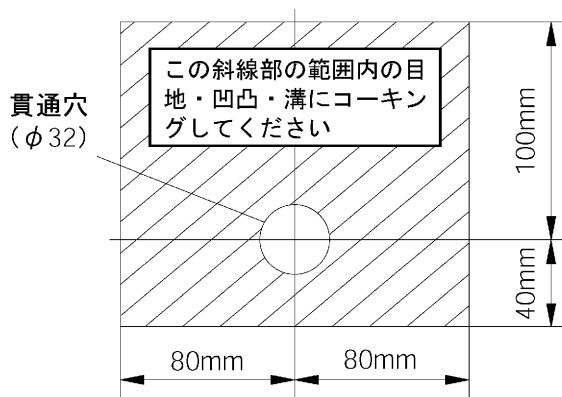


ネジ(現場手配)

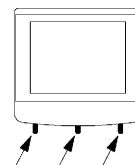
●電源・チューナユニットの取り付け場所の注意

- ・中継コード4m（付属品）が配線できる位置に取り付ける
- ・天井裏点検口に取り付ける場合は、なるべく点検口の付近に取り付ける。

5. タイル壁や、凹凸・溝のある壁の場合は、防水のため貫通穴のまわりの目地・凹凸・溝に、シリコン系コーキング剤等でシールします。

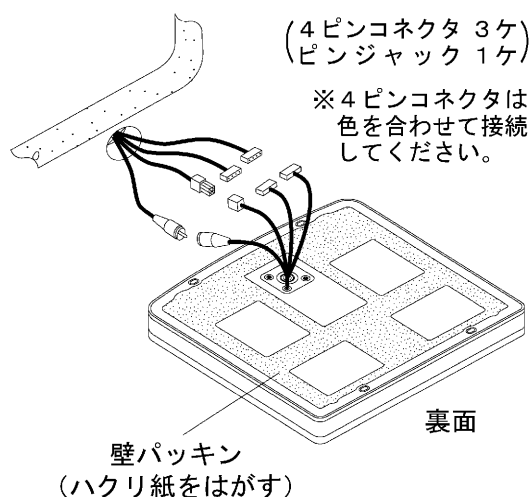


テレビ本体の外形よりコーキングがみ出さないようにしてください。



取付方法(テレビ本体)

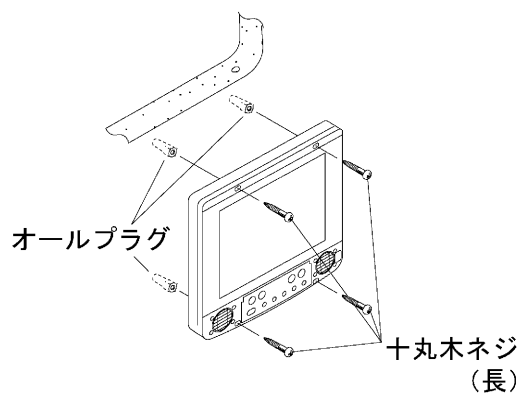
6. 中継コードを接続し、壁パッキンのハクリ紙をはがします。



- ハクリ紙をはがさず取り付けると水が入って故障するおそれがあります。
- 中継コードおよびコネクタがはさまらないように取り付けてください。

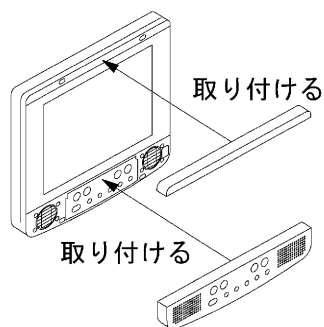
7. 十丸木ネジ(長) 2本で上側2本を仮止めし、次に十丸木ネジ(長) 2本で下側2本を仮止めします。最後に十丸木ネジ(長) 4本を固定します。

※壁パッキンだけの固定は絶対にしないでください。一度接着すると位置調整ができません。
 ※壁パッキンの接着は強力なので、事前にネジ穴位置を合わせてテレビ本体を取り付けてください。

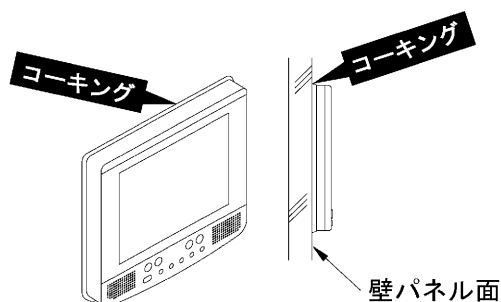


- スピーカーに金属くずが付着しないように注意してください。

8. テレビ本体の化粧枠上・下を元どおり取り付けます。



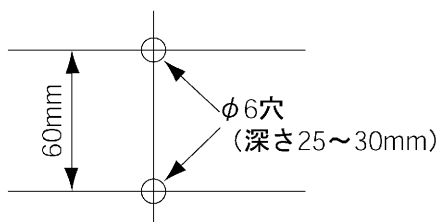
9. テレビ本体と浴室壁面のすき間は全周にわたり、シリコン系コーキング剤等で十分にシールしてください。



取付方法 (リモコンホルダー)

電気ドライバー・インパクトドライバーは使用しないでください。

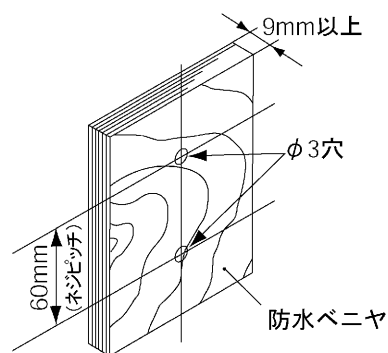
1. リモコンホルダーの取り付け位置を選定し、リモコンホルダー固定用の穴 (φ6mm、深さ25~30mm) をあけ、オールプラグを打ち込み、シリコン系コーキング剤等で十分にシールします。



※ユニットバスなどの壁パネルにリモコンホルダーを取り付ける場合は、下図のような裏うち板が必要です。

[裏うち板はあらかじめ壁パネルの裏側に取り付けしておく。]

※壁パネル厚に対応した+皿タッピンネジが必要です。(現場手配)

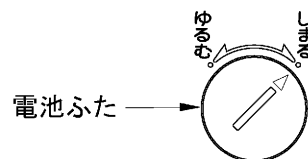


2. +皿タッピンネジ2本でリモコンホルダーを壁面に固定します。

リモコンの操作が可能なことを確認してください。

電池の入れかた

1. 硬貨などを使って、リモコン背面の電池ふたを開けます。
2. リチウム電池CR2032を、+が上になるように入れます。
3. 電池ふたを溝に合わせて取り付け、硬貨などを使って「しまる」の位置まで確実に閉めます。



- リモコンの電池のふたの開閉は、水がかからないところで乾いた手で行ってください。万一水が入ってしまった場合には、すぐ電池と内部の水を拭き取ってください。
- 電池の⊕⊖の向きを正しく入れてください。
- 電池のふたは必ず確実に閉めてください。